

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.21

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)DPL兵庫 加古川新築工事	階数	地上2F、地下0F
建設地	兵庫県加古川市野口町水足寸倍	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	40 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,450 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年7月 予定	評価の実施日	2025年11月25日
敷地面積	24,857 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社 一級
建築面積	13,975 m ²	確認日	2025年11月25日
延床面積	27,676 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社 一級建築士事務所 岩上 嘉樹



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ホールライフカーボン(温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.6</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 100%</p> <p>②建築物の取組み 79%</p> <p>③上記+②以外の 79%</p> <p>④上記+ 79%</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Qのスコア = 3.2</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 0.0</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.7</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 2.8</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LRのスコア = 3.6</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 3.8</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 3.7</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.4</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>兵庫県加古川市に建設される物流倉庫の計画である。節水機器の採用、高効率設備による省エネ性能の向上で、地球環境に配慮している。</p>	<p>その他</p> <p>特になし。</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>対象外。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>耐用年数の長い外装材、配管材料を採用し、建物の維持管理に配慮している。また、壁長さ比率に余裕を持たせ、ゆとりのある計画とし、機能性にも配慮している。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>植栽による修景、視点場からの外観パースによる検討等、良好な景観形成へ配慮した取り組みがある。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>効率のよい空調機器・全面的なLED照明の導入など、高効率な設備システムを導入することで省エネルギー化を図っている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>ニューフェローデッキ、F.T.Pile構法等により材料使用量の削減を図っている。またOAフロアの採用によって部材の再利用可能性向上を図り、省資源化に配慮している。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>燃焼機器は使用せず、大気汚染防止に配慮している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
 ■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される